

顧客ニーズに応える調査サービス

「9・15ショック」といわれるリーマン・ブラザーズの経営破たん後、急激に世界の金融・経済は落ち込んでいます。当社は、法人・企業や法律事務所を主要クライアントとする総合調査業で、45年の社歴があり、多くのお客様に支えられ、調査会社としては珍しいといわれる自己資本比率80%を維持してきましたが、今回の金融不況には厳しさを痛感しています。

しかし、企業としての将来を考えた場合、このような荒波にも持ちこたえる企業体質の強化をはかるには絶好の機会ではないかとも思います。

私は、父が創業したこの調査会社を引き継いで5年目になりますが、ビジネスの基本は需要と供給にあり、顧客の要望と期待にいかに応えられるかが、企業を成長させるポイントではないかと常々思います。特に「生きた情報」を扱う調査業にとっては、正確な情報を

トクチョー 代表取締役社長 荒川 一枝

一言

的確なタイミングで提供できるシステムづくりが必要になると思います。

当社の経営理念は「誠実・堅実・着実」です。近年はオーダーメイド型の調査依頼が増加傾向にあります。この経営理念を精神的な支柱として、顧客満足度の向上に努めています。当社の調査レポートはいわゆるフォーマット化された画一的なものとは異なり、「真にお客様のために役立つ調査レポート」でありたいと思っています。

当社の営業担当は、お客様が何をどれだけ知りたいのか、お客様の立場になって、ニーズをきちんと把握し、単に受託調査に終わることなく、コンサルティングの要素も取り入れた調査サービスを心がけています。

お客様に貢献する、ひいては社会に貢献できるような調査会社が理想であり、志を高く持ちつつ、微力ながら日々、奮闘している毎日です。